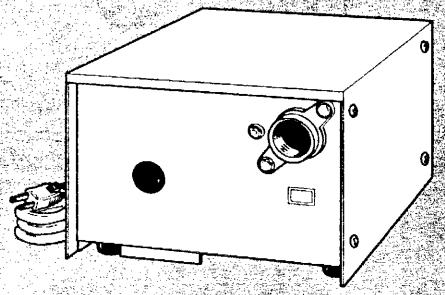
MITSUBISHI

三菱電気温水器用
給湯加圧ポンプ

取扱説明書

このたびは、三菱電気温水器用給湯加圧ポンプをお買上げいただきまして誠にありがとうございました。

形名
GT-81B



- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・据付け工事店名(販売店名)」などの記入を確かめて、据付け工事店(販売店)からお受け取りください。
- 添付別紙の「三菱電機お客さま相談窓口一覧表」は、大切に保存してください。
- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)

T410Z009H03

もくじ

ページ

安全のために必ずお守りください ……1～2
各部のなまえ……3
ご使用方法……3
配管例……4
シャワーご使用の場合 ……5
ご使用にあたってのお願い……5
給湯加圧ポンプに異常が生じた場合……6
凍結防止について……7
修理を依頼される前に……8
仕様……9
アフターサービスと保証 ……10

試運転は据付け工事店の立会いのもとで行なってください。安全を確保するための正しい使い方について、据付け工事店から説明を受けてください。

安全のために必ずお守りください

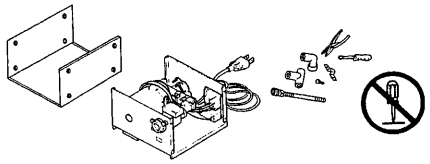
- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

●本文中や、本体の表示に使われる表示の意味は次の通りです。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

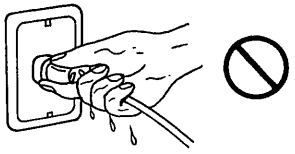
⚠警告

修理技術者以外の人は、分解・修理・改造をしない



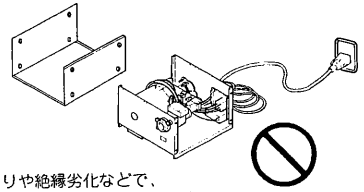
不備があると、
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



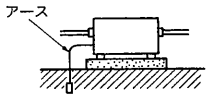
感電やけがをすることがあります。

ポンプカバーをはずしたまま使用しない



ほこりや絶縁劣化などで、
感電や火災のおそれがあります。

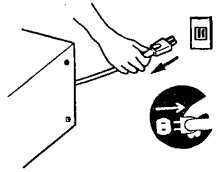
アース工事を確認する



工事に不備があると、
故障や漏電のときに感電することがあります。

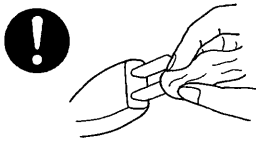
アースの取付けは、据付け工事店へお問合せください。

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く



感電やけがをすることがあります。

電源プラグの刃や刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭きとる



火災の原因になります。

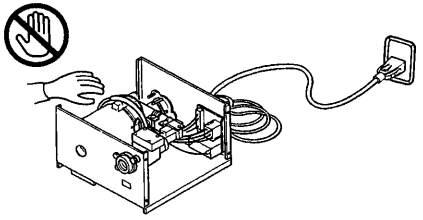
●本文中に使われる図記号の意味は次の通りです。

	絶対に行なわないでください。
	絶対に触れないでください。
	絶対に分解・修理・改造はしないでください。

	必ず指示に従い行なってください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	必ずアース工事を行なってください。

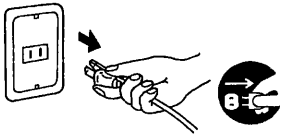
⚠注意

ポンプやモーターに触れない



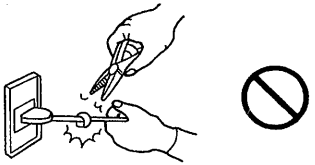
ポンプやモーターは高温になっていますのでやけどの原因になります。

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く



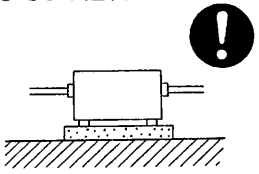
絶縁劣化による感電や
漏電火災の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない



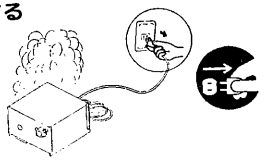
また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

ポンプに水が入ったことを確認してから運転する



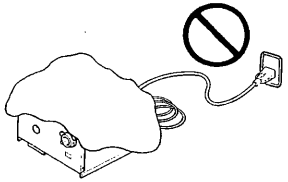
空運転(ポンプに水のない状態での運転)するとポンプの軸封装置の寿命を縮め、水漏れの原因になります。

異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、据付け工事店に点検修理を依頼する



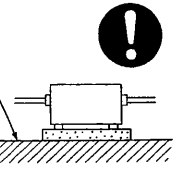
感電することがあります。また、漏電・
ショートなどによる火災の原因になります。

ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプカバー内に燃えやすいものを入れない



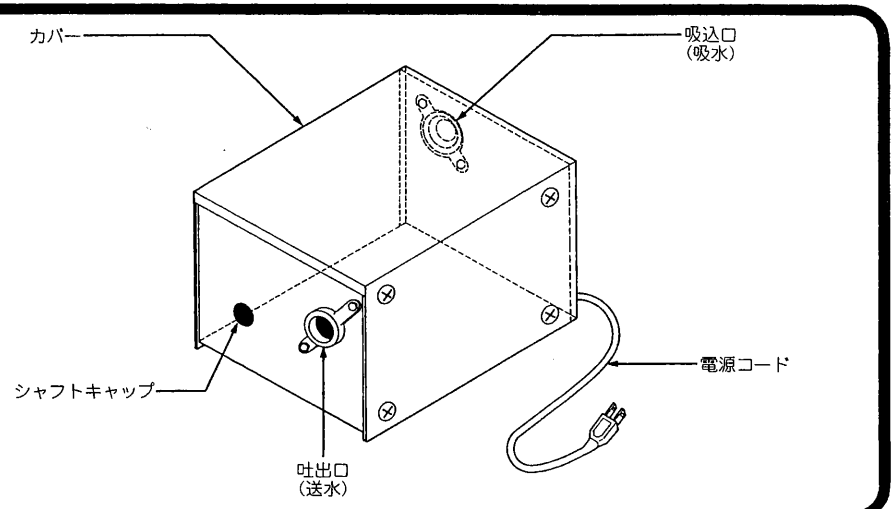
過熱して発火することがあります。

床面が防水・排水処理されているか確認する



処理されていない場合、水漏れが起きたとき
大きな被害につながることがあります。

各部のなまえ



ご使用方法

この給湯加圧ポンプは「フロースイッチ」を内蔵しておりますので、給湯栓の開閉により自動運転します。配管工事終了後は、次の方法でポンプの動作を確認してからご使用ください。

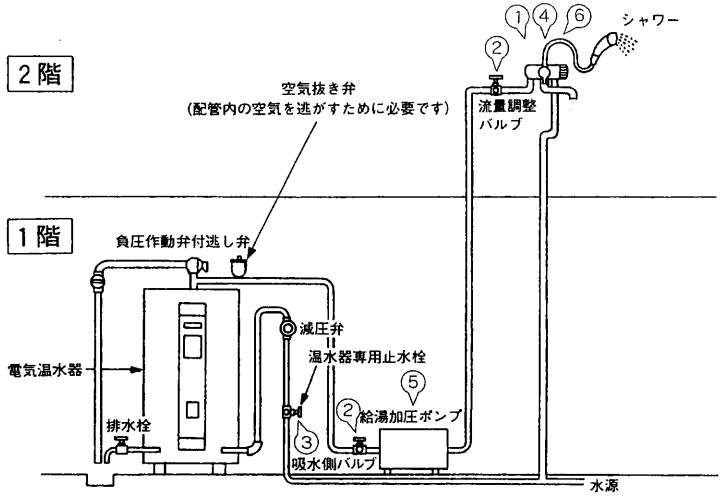
①給湯栓、または湯水混合栓の給湯つまみを開きます。
②吸水側バルブ、流量調節バルブを開きます。
③温水器専用止水栓を開きます。
④給湯栓または湯水混合栓から水がでてきたら満水です。給湯栓または湯水混合栓の給湯つまみを閉じます。
⑤ポンプの電源プラグをコンセントに差込みます。
⑥給湯栓、または湯水混合栓の給湯つまみをそれぞれ２～３回開閉してポンプが起動・停止することを確認します。

※お湯の量が変化したり、給湯栓から気泡が噴出する場合は、温水器への給水量が不足したためです。給湯つまみを絞ってご使用ください。
（ポンプに空気が混じるため、給湯加圧ができなくなります。）

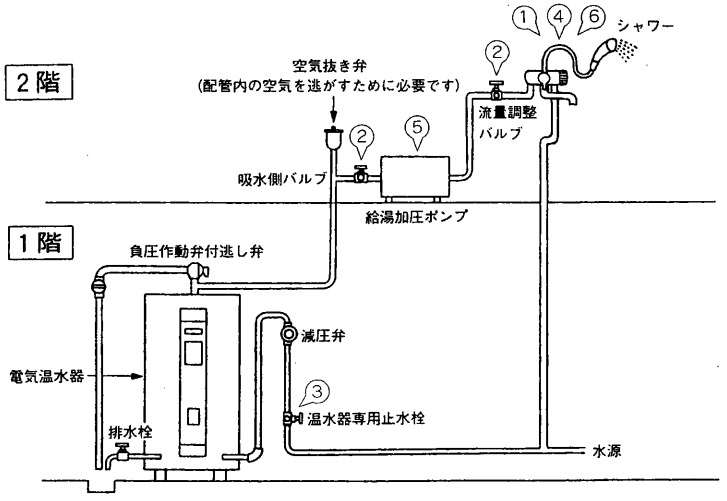
※ポンプに空気が混じった場合はお湯がでません。20～30秒間程度で正常運転するようになりますが、万一、正常運転にもどらないときは、一度給湯つまみを閉じ、約20秒間待った後でいっぱいに開いてください。（これを2~3回くり返してください。）

配　管　例

配管例１　１階据付けの場合



配管例２　２階据付けの場合



シャワーご使用の場合

次の要領で湯温調節を行なってください。

給湯つまみを開にし、ポンプを起動（出湯量が急にふえます）させた後、給湯つまみを徐々にしぼりながら給水つまみを開き、湯温を調節します。

お願い

・給湯つまみを全開にしますと、多量の熱湯が出ますので、やけどにご注意ください。
・ポンプ停止時に湯温を調節されますと、ポンプ起動時にお湯の量が増加してシャワーの湯温が急激に上がりますので、やけどにご注意ください。
・サーモスタット式混合栓でシャワー使用の場合、少量（10L／min以下）の湯量使用ではポンプが断続運転になる事がありますので、ご注意ください。
（ポンプに内蔵のフロースイッチは約2.5L／minで「ON」し、約1L／minに減少すると「OFF」します。）

ご使用にあたってのお願い

1.長期間使用しないで再運転する場合は、電源を入れてモーターが回転するかどうか必ず確認してください。モーターが回転しない場合はモーター保護装置が作動します。
このような場合は、「2.メカニカルシールについて」（６ページ）を参照ください。
2.水以外の液体（油、化学薬品など）には使用しないでください。
3.シングルレバー混合栓のレバーハンドルの操作はゆっくりと操作してください。急に操作しますと、配管内に衝撃（ウォーターハンマー）現象が発生し、ポンプ破壊の原因となります。

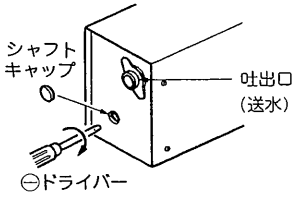
給湯加圧ポンプに異常が生じた場合

１．モーター保護装置について

① モーター保護装置(モーター内蔵)は、過大な電流が流れたり、電圧の異常によって起こるモーターの異常発熱を検知して作動し、自動的に電源を切りモーターの焼損を防止する装置です。
② モーター保護装置が作動した場合は、モーターが回転しませんので電源プラグをコンセントから抜き、約１時間程度経過した後、電源プラグをコンセントに入れてください。(モーター保護装置は自動復帰します。)
※モーター保護装置がたびたび作動し、モーターが回転しない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、据付け工事店にご連絡ください。

２．メカニカルシールについて

① **メカニカルシールは消耗部品です。**
メカニカルシールはモーターとポンプの間の軸封部の水漏れ防止部品です。
メカニカルシールは消耗部品ですから長年使用されますと摩耗し、水漏れが発生します。寿命は水質、使用時間などで異なります。
※ポンプの低部などより水漏れが生じたら据付け工事店に、メカニカルシールの交換をご依頼ください。
② モーターが回転しないとき
ポンプを長期間使用しないで再使用する場合は、メカニカルシールが固着してモーターが回転しないことがあります。
この場合は、電源プラグをコンセントから抜き吐出口側のシャフトキャップをはずし、モーターシャフトをマイナスドライバーで右方向（時計回り）に回して固着を解除してください。



※はずしたシャフトキャップは必ず元通りに取付けてください。
はずしたままですと内部にゴミや水が入り故障の原因となります。

凍結防止について

暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください

冬期は寒冷地だけでなく、暖かい地域でも周囲温度が０℃以下になるとポンプや配管が凍結する恐れがありますので凍結防止策が必要です。くわしくは据付け工事店に確認してください。

1.配管の保温

配管、空気抜き弁、各バルブなどには十分保温が必要です。保温材などにより凍結防止対策が行われていることを確認してください。

2.ポンプの保温

冬期には内蔵のヒーター（約40W）が作動して保温します。
ヒーターは周囲温度が5℃で入り、15℃になると切れます。
※周囲温度が－10℃以下になる場合はポンプ本体を囲って保温してください。

お願い

風当たりの強い場所や特に寒い地方ではヒーターが作動しても凍結する場合がありますので、風が直接当たらないように周囲を囲ってください。

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、つぎの処置を行なってください。
それでも不具合のあるときは電源プラグを抜いて据付け工事店にご相談ください。
保証期間内の場合は保証書をご提示ください。

現　象	点　検　事　項	処　置
給湯つまみを開いてもポンプが起動しない	• 電源プラグがコンセントに差込まれていますか	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	• 吸水側バルブ、流量調整バルブが閉じていませんか	各バルブを開いてください。
	• ポンプや配管が凍結していませんか	とけるまで待ってください。
	• メカニカルシールが固着していませんか ※特に長期間不使用後の再運転の場合	「2.メカニカルシールについて」6ページを参照してください。
流量が足りない	• 吸水側バルブ、流量調整バルブをしぼりすぎてませんか	吸水側バルブ、流量調整バルブを調整してください。
給湯つまみを閉じてもポンプが運転する	• ポンプの流量調整バルブ側の継手、配管から水漏れしていませんか	水漏れを完全に止めてください。
	• お湯はでませんか（配管に空気だまりがあります。）	すべての給湯つまみ（シャワーなど）をそれぞれ２～３回開閉してください。
出湯水に空気が混入し、流量が変化する	• 温水器専用止水栓や吸水側バルブが絞ってありませんか	温水器専用止水栓や吸水側バルブを全開にしてください。
	• 流量調整バルブが開きすぎていませんか	流量調整バルブを調整してください。

※メカニカルシールは消耗部品です。消耗や劣化している場合は交換してください。

仕様

形名		GT-81B	
電源		単相100V	
周波数		50Hz	60Hz
消費電力		81W	100W
定格出力		40W	50W
定格電流		0.82A	1.05A
電動機形式		単相コンデンサー誘導電動機	
極数		2極	
ポンプ	全揚程	5m	7m
	揚水量	10L/min	10L/min
	押込圧	200kPa(2Kgf/㎠) 以下	
口径	吸込側	Rp3/4ネジ (PS 3/4ネジ)	
	吐出側	Rp3/4ネジ (PS 3/4ネジ)	
フロースイッチ標準動作流量		ON 2.5L/min	
		OFF 1.0L/min	
軸封装置		開放型セラミックメカニカルシール	
モーター保護装置		サーマル式焼損防止器 (自動復帰式)	
凍結防止装置		サーモスタット式セラミックヒーター (ON5℃、OFF15℃)	
設置場所		屋内軒下兼用	
外形寸法(幅×奥行×高さ)		227㎜×272㎜×157㎜	
製品重量		約6.0kg	
電源コード長さ		1.8m	

注) 本品は50Hz、60Hz共用です。

アフターサービスと保証

●この商品には保証書がついております。
保証書は据付け工事店が所定事項の記入をします。記載内容をご確認いただき大切に保存してください。

●保証期間はお買上げの日より1年間です。

●保証書の記載内容により据付け工事店または三菱電機サービスセンターが修理致します。
その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理については据付け工事店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

●当社はこの電気温水器用給湯加圧ポンプの製造打切後8年を基準に補修用性能部品を保有しております。
性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

●なお保証期間中の修理などアフターサービスについて、ご不明の場合はお買上げの据付け工事店か三菱電機サービスセンターまたは、三菱電機お客さま相談窓口にお問合わせください。

愛情点検

・長年ご使用のポンプの点検を！

このような症状はありませんか。

- 運転中異常な音や振動がする。
- 運転すると安全装置や漏電しゃ断器が動作する。
- 水漏れがする。(ポンプ部、フランジ部)
- こげくさい“におい”がする。
- ポンプに触るとピリピリと電気を感じる。
- コード類に“傷”や“ひび割れ”がある。
- その他の異常がある。

ご使用中止

このような症状のときは故障や事故防止のため、電源を切って(差込みプラグ)をコンセントから抜いて必ず据付け工事店に点検・修理をご相談ください。

形名	GT-81B
ご購入(据付け)年月日	年 月 日
据付け工事店名	TEL

お客様へ……おぼえのため、ご購入年月日、据付け工事店名を記入されると便利です。

三菱電機株式会社 群馬製作所 〒370-04 群馬県新田郡尾島町岩松800 ☎(0276)52-1111(代表)